

へいわ ちか 平和への誓い

め と そうぞう
目を閉じて想像してください。

みどりゆた うつく ひと しょうてんがい え がお
緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。

ねんまえ ひろしま いま か いろあざ にちじょう
79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。

しょうわ ねん ねん がつむいか ごぜん じ ふん
昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

「ドーン！」という鼓膜が破れるほどの大きな音。

た のぼ くるみ しゆいろ くも
立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。

ひと くさき や たす もと こえ ぜつぼう なみだ う つ
人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。

ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。

げん しぼくだん いろあざ にちじょう うば ひろしま はいろ せ かい か
原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。

ひばくしゃ わたし そうそぼ とうじ ようす かた
被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。

ことば かな きおく ねん た いま おお ひばくしゃ くる つづ
言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

いま せ かい せんそう つづ
今もなお、世界では戦争が続いています。

ねんまえ おな い い ひと
79年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たち、

あ す とも す ひと うしな ひと せ かい
明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。

ほんとう
本当にこのままでよいのでしょうか。

ねが へいわ
願うだけでは、平和はおとずれません。

いろあざ にちじょう まも へいわ わたし
色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

ひとりひとり あいて はなし き
一人一人が相手の話をよく聞くこと。

ちが よ じぶん かんが み なお
「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。

なかま きょうりょく ひと な と
仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。

わたし へいわ いっ ぽ
私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。

へいわ きねん しりょうかん けんがく ひばくしゃ ことば ふ
平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。

かぞく ともだち へいわ とうと いのち おも かた あ
そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合ひましょう。

せ かい か へいわ いっ ぽ いま ふ だ
世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

れいわ ねん ねん がつむいか
令和6年（2024年）8月6日

こども代表 ひろしま し ぎ おんしょうがっこう ねん かとう あきら
広島市 祇園小学校 6年 加藤 晶
ひろしま しりつ や はたひがししょうがっこう ねん いしまる ゆうと
広島市立八幡東小学校 6年 石丸 優と